

都市研究 第15号 (2015)

■付録2：『都市研究』執筆要項・投稿規定

81頁～82頁

『都市研究』（近畿都市学会学術雑誌） 執筆要項・投稿規定

I. 原稿一般 執筆要項 (2001年8月制定)

1. 原稿の作成

原則として、ワードプロセッサでA4版用紙に47字×43行でプリントしたもの（これがほぼ刷り上がり1頁分である）。

2. 論文の種類別

(1) 論文は以下の3種類とする。

- 1) フォーラム論文（編集委員会の企画する特集のための中編の依頼論文）
- 2) 査読論文（若手を含めた自由投稿にもとづき査読を経る長編論文）
- 3) まちづくり紹介論文（秋季大会のエクスカージョンおよび講演をベースとしたまちづくり自治体の紹介や、まちづくり研究機関の紹介からなる短編論文）

(2) 論文の構成は以下のようにする（頁数は図表、注文、文献をすべて含むもの）。

- 1) フォーラム論文の構成（刷り上がり約4～8頁）→ 論文題目、著者名、著者の所属、本文、注、文献。
- 2) 査読論文の構成（刷り上がり約6～20頁）→ 論文題目、著者名、著者の所属、和文要約、和文キーワード（5文字以内）、英文アブストラクト（200語以内）、英文キーワード（和文キーワードに対応）、本文、注、文献。
- 3) まちづくり紹介論文（刷り上がり約1～2頁）→ 論文題目、著者名、著者の所属、本文、注、文献。

(3) 上記とは別に、論文代表者の連絡先の住所、氏名、電話、FAX、e-mailアドレス（所有者）を書いた別紙を必ず添付する。

3. 本文

本文の章立て番号は、章「I、II、III…」、節「1.、2.、3.、…」、項「(1)、(2)、(3)、…」などとする。算用数字は1字のみをのぞき原則として半角とする。年次は原則として西暦で表す。「NPO」などの略語アルファベットは原則として全角とする。

4. 注（注説明は文末、脚注は不可）

注は当該箇所の上肩に上ツキ文字で 1) などのように通し番号を付し、説明は本文の次、文献リストの直前にまとめてつける。

5. 文献の表記法（文献リストは文末、脚注は不可）

本文中では、「…都市太郎・街二郎（2001）によれば…」などと引用する。本文末では、「…といわれている（都市太郎・街二郎、2001）。」などと引用する。そして、注の後、原稿の最後に、日本語文献（アイウエオ順）、欧文文献（アルファベット順）の順で文献リストをつける。

- (1) 雑誌論文 (和) 著者名 (年号)「論文名」『雑誌名』巻号、発行学会名。
- (2) 単行本の一部 (和) 著者名 (年号)「論文名」(編者名『書籍名』) 出版社名。
- (3) 単行本 (和) 著者名ないし編者名 (年号)『書籍名』出版社名。
- (4) 雑誌論文 (欧) 著者名 (年号)‘論文名’, “雑誌名”, Vol., No.. 発行学会名。
- (5) 単行本の一部 (欧) 著者名 (年号)‘論文名’ (編者名ed. “書籍名”) 出版社名。
- (6) 単行本 (欧) 著者名ないし編者名eds. (年号), “書籍名”, 出版社名。

(※) 英文で、第一著者は「姓、名(頭文字)」、第二著者以降は「名(頭文字)、姓」

6. 注意

ワード等を使う場合、文書の自動設定はできるだけ解除して、テキストのみを地で書いてください。1) 章番号・段落等の自動設定を解除してください。2) 注の自動設定、脚注設定等も解除し、注・参考文献は、本文最後にまとめてつけください。

Ⅱ. 査読論文 投稿規定 (2001年8月制定)

1. 内容

- (1) 広く、都市・まちづくりに関する学術研究論文とする。
- (2) 原則として未発表のものとし、他の学術誌への二重投稿を禁ずる。
- (3) 原則として近畿都市学会大会で発表した内容にかかわるものとする。

2. 応募資格

本会会員とする。

3. 原稿執筆と送付

- (1) 執筆者は、「『都市研究』論文執筆要項の査読論文」項目に基づいて執筆すること。
- (1) 執筆者は、「『都市研究』論文執筆要項の査読論文」に基づいて執筆すること。
- (2) 執筆者は、下記の書類を下記編集委員会宛に郵送すること。
 - 1) 論文原稿1部およびそのコピー2部。 【掲載許可以降は、テキストファイル送付】
 - 2) 図表があるものは、必ず鮮明な原図を3部添付する。
 - 3) 論文代表者の連絡先の住所、氏名、電話、FAX、e-mailアドレス(所有者)を書いた別紙。

4. 査読論文の採否

査読論文は、編集委員会の複数の読者による閲読をうけ、編集委員会で可否を決定する。

『都市研究』最終入校形式

編集委員会からのお願い 編集委員会の方の作業の便宜のため、最終的な原稿入稿時には、以下の形式で、ご入校いただきますようお願いいたします。査読論文投稿者は、掲載決定後の入校版からこの形式でお願いいたします。

●本文は、すべてテキストファイル。

●注は、当該個所に「(注1)」と表現する。脚注とせず、文末注として下さい。

●図・表は、本文中に挿入個所を明記し、軽い場合は、本文はりつけ。

重い場合は、エクセルなど表ソフト、画像データは、かならず一つ一つのファイルで、電子メールで編集委員会アドレスに送る(本文中に画像を張り付けると大変大きくなりますので、本文中に画像を張り付けることはせず、できるだけ別ファイルとしてください)。

●章番号、インデント、注等の、自動設定は使わず、地に直接書いてください。

都市研究 第X号 (200X)

■フォーラム論文・特集1「都市論のフロンティア」

000頁~000頁

←トップの3行は、MSゴシック11pt

論文タイトルは、MSゴシック18pt

著者名(所属)は、MSゴシック11pt

←2行空け

I. 章は、MSゴシック14pt

←1行空け

1. 節は、MSゴシック12pt

←1行空け

(1) 項は、MSゴシック11pt

本文は、MS明朝10pt……

本文中の列挙は、1)、2)、3) …か、①、②、③…

図1 ←図挿入個所指定

本文の注番号の入れ方は、

「(注1)」としてください。

【注】タイトルは、MSゴチック11pt

1) 頭1文字あけて、注内容を列挙。

【参考文献】タイトルは、MSゴチック11pt

都市太郎・街二郎(2001)「近畿のまちづくり」『都市研究』第12巻3号、近畿都市学会。

都市太郎・街二郎編(2001)『近畿のまちづくり』、近畿書房。

Toshi, T., and M. Jiro (2001) 'Town Management in Kinki Region', "*Kansai Urban Studies*", Vol.12, No.3. Kansai Association of Urbanology.

Toshi, T., and M. Jiro eds. (2001) "*Town Management in Kansai Region*", Kinki Shobo Publishing.